

平成30年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成30年2月28日

上場会社名 パーク24株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4666 URL http://park24.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西川 光一
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 経営企画本部長(氏名) 佐々木 賢一 (TEL) 03-3213-8900
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第1四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第1四半期	72,547	43.9	5,028	17.9	4,976	14.3	3,234	12.6
29年10月期第1四半期	50,404	7.7	4,263	△13.5	4,353	△10.6	2,872	△10.2

(注) 包括利益 30年10月期第1四半期 4,775百万円(57.3%) 29年10月期第1四半期 3,034百万円(△2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第1四半期	22.04	20.89
29年10月期第1四半期	19.61	18.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第1四半期	256,643	73,218	28.3
29年10月期	256,341	78,804	30.5

(参考) 自己資本 30年10月期第1四半期 72,516百万円 29年10月期 78,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	70.00	70.00
30年10月期	—	—	—	—	—
30年10月期(予想)	—	0.00	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	139,000	29.4	9,100	6.3	8,800	3.1	5,500	△1.9	37.19
通期	290,000	24.5	22,500	9.7	22,500	10.9	14,000	4.2	94.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年10月期1Q	146,764,635株	29年10月期	146,722,835株
30年10月期1Q	1,245株	29年10月期	1,185株
30年10月期1Q	146,725,116株	29年10月期1Q	146,477,251株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年11月1日～平成30年1月31日）におけるわが国経済は、企業収益の改善や個人消費の持ち直しなどによって緩やかな回復基調で推移したものの、海外の政策動向や地政学的リスクなどによる世界経済の不確実性のもとで、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、既存サービスの拡大と新たなサービスの創出を推進するとともに、昨年からグループに加わった海外駐車場事業会社の事業基盤づくりに努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループは、1月に発生した記録的大雪による影響を受けたものの売上高は725億47百万円（前年同期比43.9%増）、営業利益50億28百万円（同17.9%増）、経常利益49億76百万円（同14.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益32億34百万円（同12.6%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

「駐車場事業 国内」

地域密着型のきめ細かな営業活動による新規駐車場の開発とその早期収益化、大手法人へのコンサルティング営業による駐車場の開発、予約のできる駐車場マッチングサービス「B-Times」などの基盤拡大に努める一方、昨年よりタイムズ駐車場の周辺店舗の集客/ビジネスをサポートする事業の一環として、「Times Pay」の決済サービスを開始するとともに、電子マネー等の決済手段の多様化対応など、お客様の利便性向上に努めております。

この結果、国内におけるタイムズ駐車場の運営件数は17,129件（前連結会計年度末比101.7%）、運営台数は565,830台（同102.6%）、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は18,550件（同101.6%）、総運営台数は701,387台（同102.6%）となっております。

上記より、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は382億46百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益は64億15百万円（同3.0%増）となりました。

「駐車場事業 海外」

昨年、オーストラリア、ニュージーランド、英国、シンガポール、マレーシアの5ヶ国の海外駐車場事業会社をグループに加えました。今後、それらの事業基盤の強化を図るとともに、日本国内と同様に安全・安心・便利にご利用頂ける駐車場サービスを展開することを目指し、各国の持つ駐車場サービスネットワークと日本において培ったノウハウやマネジメント力の融合に努めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間末における海外事業の駐車場の総運営件数は2,277件（前連結会計年度末比103.2%）、総運営台数は567,117台（同103.6%）となり、全世界における駐車場の総運営件数は20,827件（同101.8%）、総運営台数は1,268,504件（同103.0%）となっております。

上記より、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は167億88百万円（前年同期比2,600.7%増）、営業利益は5億7百万円（同978.8%増）となりました。

「モビリティ事業」

レンタカーサービスにおきましては、お客様のアクセスしやすい場所への出店やニーズに合った車種の展開のほか、レンタカーの配達サービス「ピット&Goデリバリー」の拡大に取り組むなど、より身近に当社グループのサービスをご利用頂くための環境整備を進めております。カーシェアリングサービスにつきましては、前連結会計年度より引き続き、積極的なステーション開発や、法人向けサービスの拡充に取り組むとともに、観光地への車両設置や各地方での社会実験への参加を通じて、ストレスなく移動が可能な環境づくりに取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間末におけるステーション数は10,257ステーション（前連結会計年度末比101.9%）、配備台数は20,454台（同102.1%）、会員数は939,877人（同104.0%）となりました。

上記より、モビリティ事業全体の当第1四半期連結累計期間末の車両台数は前連結会計年度末比99.6%の48,787台（うち、カーシェアリングサービスの車両台数は20,454台）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は175億69百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益は5億16百万円（同1.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比3億1百万円増加して2,566億43百万円となりました。主な増減と致しましては、増加で現金及び預金が27億28百万円、未収入金を含むその他の流動資産が15億54百万円、のれんが5億43百万円となり、減少で受取手形及び売掛金が9億24百万円、機械装置及び運搬具（純額）含む有形固定資産が35億74百万円となっております。

負債合計は、同58億88百万円増加し、1,834億25百万円となりました。主な増減と致しましては、増加で長短借入金97億67百万円、預り金を含むその他の流動負債が4億87百万円となり、減少で未払法人税等が32億45百万円、賞与引当金が7億40百万円となっております。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加32億34百万円、為替換算調整勘定の増加13億88百万円、利益剰余金の配当による減少102億70百万円等により、同55億86百万円減少し732億18百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて27億79百万円増加し、205億54百万円となりました。

当四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、118億70百万円（前年同期比48億56百万円の増加）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益117億32百万円に対し、法人税等の支払額41億42百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ・フローは、72億35百万円（前年同期比136億98百万円の減少）となりました。これは主として、タイムズ駐車場の開設や営業車両の取得に伴う有形固定資産の取得による支出61億62百万円、長期前払費用の取得による支出9億15百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、18億82百万円の資金の支出（前年同期比153億53百万円の支出の増加）となりました。これは、短期借入金の純増額108億3百万円があった一方、配当金の支払額102億72百万円、長期借入金の返済12億29百万円と、リース債務の返済11億63百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期の連結業績予想につきましては、「平成29年10月期 決算短信」（平成29年12月14日付）で公表した数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,152	20,880
受取手形及び売掛金	15,250	14,326
たな卸資産	1,468	1,483
その他	24,434	25,988
貸倒引当金	△207	△223
流動資産合計	59,097	62,455
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,491	15,696
機械装置及び運搬具(純額)	43,747	40,205
土地	24,454	24,516
リース資産(純額)	18,576	18,544
その他(純額)	13,271	13,004
有形固定資産合計	115,541	111,967
無形固定資産		
のれん	59,750	60,294
その他	2,770	2,787
無形固定資産合計	62,521	63,081
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	700	714
その他	18,480	18,424
投資その他の資産合計	19,181	19,139
固定資産合計	197,244	194,187
資産合計	256,341	256,643
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	713	711
1年内償還予定の社債	19,970	19,970
短期借入金	43,767	54,646
未払法人税等	4,974	1,728
賞与引当金	1,752	1,011
引当金	327	510
その他	42,537	43,025
流動負債合計	114,043	121,604
固定負債		
長期借入金	40,699	39,588
退職給付に係る負債	155	165
資産除去債務	6,202	6,253
その他	16,435	15,813
固定負債合計	63,493	61,820
負債合計	177,536	183,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,549	9,580
資本剰余金	11,302	11,333
利益剰余金	57,898	50,862
自己株式	△1	△2
株主資本合計	78,748	71,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	141	134
繰延ヘッジ損益	△76	△71
土地再評価差額金	△1,052	△1,052
為替換算調整勘定	674	2,062
退職給付に係る調整累計額	△324	△331
その他の包括利益累計額合計	△635	741
新株予約権	299	288
非支配株主持分	392	413
純資産合計	78,804	73,218
負債純資産合計	256,341	256,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
売上高	50,404	72,547
売上原価	37,503	55,894
売上総利益	12,901	16,652
販売費及び一般管理費	8,637	11,624
営業利益	4,263	5,028
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	2	2
未利用チケット収入	43	48
為替差益	124	4
その他	19	135
営業外収益合計	190	191
営業外費用		
支払利息	16	164
持分法による投資損失	13	2
駐車場解約費	57	36
その他	13	40
営業外費用合計	100	243
経常利益	4,353	4,976
税金等調整前四半期純利益	4,353	4,976
法人税、住民税及び事業税	1,170	1,396
法人税等調整額	310	188
法人税等合計	1,481	1,584
四半期純利益	2,872	3,391
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	157
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,872	3,234

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	2,872	3,391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	26	△7
繰延ヘッジ損益	—	4
為替換算調整勘定	50	1,386
退職給付に係る調整額	27	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	58	7
その他の包括利益合計	162	1,383
四半期包括利益	3,034	4,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,034	4,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	163

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,353	4,976
減価償却費	5,612	6,756
受取利息及び受取配当金	△3	△3
支払利息	16	164
売上債権の増減額(△は増加)	△241	1,120
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,191	3,140
仕入債務の増減額(△は減少)	69	△54
未収入金の増減額(△は増加)	196	233
前払費用の増減額(△は増加)	560	900
未払金の増減額(△は減少)	75	1,444
設備関係支払手形の増減額(△は減少)	113	△90
その他	△434	△2,438
小計	11,509	16,149
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△14	△139
法人税等の支払額	△4,484	△4,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,013	11,870
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,495	△6,162
有形固定資産の売却による収入	0	8
無形固定資産の取得による支出	△243	△242
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△15,276	—
長期前払費用の取得による支出	△791	△915
その他	△127	76
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,933	△7,235
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	25,000	10,803
長期借入れによる収入	—	63
長期借入金の返済による支出	△1,250	△1,229
リース債務の返済による支出	△960	△1,163
株式の発行による収入	206	50
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△9,524	△10,272
非支配株主への配当金の支払額	—	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,471	△1,882
現金及び現金同等物に係る換算差額	34	26
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△414	2,779
現金及び現金同等物の期首残高	19,461	17,775
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,046	20,554

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外	モビリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	35,945	621	13,837	50,404	—	50,404
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	—	13	42	△42	—
計	35,975	621	13,850	50,447	△42	50,404
セグメント利益	6,229	47	509	6,786	△2,523	4,263

(注)1 セグメント利益の調整額△2,523百万円には、のれんの償却額△38百万円、全社費用△2,484百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年1月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	駐車場 事業国内	駐車場 事業海外	モビリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,211	16,788	17,547	72,547	—	72,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35	—	22	57	△57	—
計	38,246	16,788	17,569	72,605	△57	72,547
セグメント利益	6,415	507	516	7,438	△2,410	5,028

(注)1 セグメント利益の調整額△2,410百万円には、のれんの償却額△38百万円、全社費用△2,372百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の駐車場事業海外の507百万円には、のれんの償却額△752百万円が含まれております。なお、のれんの償却額には前連結会計年度に行われた企業結合に係る、暫定的に算定された金額が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。